

令和2年度（公財）松山観光コンベンション協会

事 業 報 告

I . 事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、夏に開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックも延期となり、その他の大型イベントも開催自粛、延期となりました。また、海外渡航の禁止等のためインバウンドの受入はできず、国内においても緊急事態宣言を受けて外出自粛や、国内旅行も自由に実施できない状況が続くとともに、飲食店の時短要請など厳しい状況がありました。8月～11月は、G o T o トラベル等の実施により若干盛り返すことができましたが、再びの感染拡大によりG o T o トラベルも停止となり、観光産業のみならず経済界は甚大な打撃を受けた年となりました。

当協会としては、そのような状況の変化等においても、できる範囲で事業に取り組んでまいりました。

観光面におきましては、松山マドンナ大使を活用したPR動画を製作し、「えひめデジタル旅行博」でPRしたほか、ホームページ上でも公開し、観光客に向けてPRしました。

受入事業におきましては、感染症対策に注意しながら、松山観光ボランティアガイドによる松山城・道後温泉など市内主要施設の観光案内や案内所において窓口対応を行いました。

物産面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で、物産展を開催することはできませんでしたが、ホームページ上において物産品を紹介しPRに努めました。

コンベンション事業におきましては、観光庁の「コンベンションビューロー支援事業」に選定されたことを受け、6回の研修を実施し、M I C E のプランディングやコンテンツの開発やタグラインの作成に取り組みました。また、中国・四国地区のコンベンション推進協議会や7都市情報交換会などによる広域的な関係構築を継続し、人的交流・情報交換を進めるほか、7都市情報懇談会では他団体で縁のある主催者とのオンラインを活用した交流を通じて誘致活動を行いました。また、国際M I C E エキスポ（I ME 2021）では、新型コロナウイルスのため、初めてのオンライン形式による開催で、松山独自の支援や魅力を材料に誘致活動に取り組みました。さらに、コンベンションデータ情報を集約し有効に活用するためのシステム開発を実施しました。

国際交流事業におきましては、松山空港発着の国際線全てが欠航している状況等のため、海外でのPR活動を実施することは難しい状況ではありましたが、松山市と友好交流協定を締結している台北市で開催された「2020 台北温泉まつり」では、松山市の観光パンフレットを送付し、現地ブースにおいて配布するとともに観光DVDを放映し、松山の宣伝に努めました。なお、「2021 台北ランタンフェスティバル」においては、愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」がサイクリングしながら松山の観光スポットである道後温泉や松山城などを回るコンセプトでランタンを制作しましたが、直前に台湾のコロナ対策により開催が9月に延期されました。今後も、観光をはじめスポーツ、文化、学術等の交流に協力します。

また、協会のホームページを多言語化対応し、観光客にさらに便利に使っていただけるように内容を見直したほか、Facebook、インスタグラムを活用しての観光情報の発信に努め、会員向けサービスの充実にも取り組みました。

各事業の詳細につきましては、別紙のとおりです。

II. 公益目的別事業報告

1. 観光・物産振興事業（公益目的事業1）

決算総額 41,200千円

(人件費を除く。以下同じ)

(1) おいでんか松山観光客誘致促進事業

支出決算 0千円

<受注型企画旅行>

旅行会社が松山市へ観光客を送客する受注型企画旅行に関し、貸切バスや船舶にかかる費用の一部を助成する事業であるが、令和2年度は要項に規定された人数以上の旅行は実施されず、助成実績はなかった。



(2) 松山マドンナ大使関連事業

支出決算 1,502千円

2020年度 松山マドンナ大使関係事業

委嘱式 令和2年4月1日(水)

派遣件数 11件(延べ日数 21日)



※2021年度については、2020年度松山マドンナ大使が引き続き活動するため、募集および選考会は実施せず。

(左から橋まなみ、高橋さと、廣中清香)

「えひめデジタル旅行博」のために動画を制作し、松山の観光をPRした。

制作した動画は協会のホームページでも公開。



日本燃焼学会主催の第58回 燃焼シンポジウムにおいて、初のオンライン派遣を実施した。



(3) 観光 PR 事業（新聞・テレビ・雑誌等による PR およびイベント） 支出決算 3,559 千円

① 広告宣伝関連

- ア. 週刊「観光経済新聞」掲載観光広告 外
- イ. 愛媛 FC 及び愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングスの試合会場への広告掲載



いつかゆったり松山へ。 One day in Matsuyama
（公財）松山観光コンベンション協会

② イベント関連

・大神輿総練 ※中止

内 容 例年9月に開催していたが、新型コロナウイルス感染症のため、密集・密接など大人数が集まるイベントを開催することができず、今年度はやむを得ず中止となった。

(4) 観光キャンペーン事業

支出決算 7,051 千円

① 松山 DAY in 神宮球場 観光キャンペーン

期 日 令和2年10月4日(日)

場 所 神宮球場

内 容 「東京ヤクルトスワローズ VS 広島東洋カープ」

- ・カラービジュアルによる PR（試合開始前、2回裏終了、3回裏終了、4回裏終了）
- ・のぼりの設置、横断幕の掲示、観光ポスターの掲示、ラッキープレゼントの実施、球団への記念品贈呈、選手への差し入れ、済美高校（松山）野球部出身のお笑いコンビ「ティモンディ」による始球式、観光パンフレットやノベルティの配布（先着1,000名）を実施した。
- また、愛媛県イメージアップキャラクター「みきやん」もグラウンドに登場し愛媛・松山の PRを行った。



カラービジョン



のぼり・横断幕



ポスター掲示



ティモンディによる始球式



記念品贈呈



みきやんがPR

② 台湾・台北市観光キャンペーン

ア. 2020 台北温泉まつり

期　　日　　令和2年10月22日(木)～10月26日(月)

場　　所　　新北投温泉駅前広場　外

内　　容　　新型コロナウイルス感染症の影響で、訪台することはできなかったが、「2020 台北温泉まつり」へパンフレットを送付して、現地ブースにおいて配布するとともに観光DVDを放映した。

現地では、2012年に贈呈した子供神輿によるパレードなどが実施された。



イ. 2021 台北ランタンフェスティバル ※開催延期

期　　日　　令和3年9月17日（金）～9月26日（日）（開催予定）

場　　所　　台北市西門町

内　　容　　「2021 台北ランタンフェスティバル」は、2021年2月26日（金）～3月7日（日）に開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、9月に延期となった。松山のランタンはすでに制作を終えており、現物は9月まで業者に保管していただき出展する予定。今回のランタンは、愛媛県イメージアップキャラクター「みきやん」が、自転車に乗って松山城や道後温泉本館など松山の観光名所を巡るコンセプトで制作した。



「みきやん」をモチーフにしたランタン

（5）物産と観光事業

支出決算

15千円

① 第22回松山の物産と観光展（札幌）※中止

2月に開催予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、直前で「開催中止」と決定した。

出店者会議：期　　日　　令和2年12月8日（火）

場　　所　　松山城ロープウェイ東雲口駅舎 2階交流ホール

出店予定業者数 26社

内　　容　　さっぽろ東急百貨店関係者も来松し、出店予定業者へ詳細な説明を実施した。

(6) パンフレット等の作成頒布事業

支出決算 767 千円

「瀬戸のまつやま・海ごはん」MAP

10,000 枚



観光ポスター



(7) 案内所運営事業

支出決算 26,120 千円

- ① 松山城東雲口駅舎 1 階案内所（委託業務）
- ② 道後観光案内所（委託業務）
- ③ JR 松山駅松山市観光案内所（委託業務）
- ④ 松山観光港ターミナル観光案内所（委託業務）

観光案内業務

件 数 29,840 件

(8) 松山観光ボランティアガイド事業

支出決算 2,186千円

① ボランティア活動報告

新型コロナウイルス感染症のため、4月から9月までの間、活動を休止したが、その後は案内時の検温の実施や氏名記入など感染症対策に配慮して案内を実施した。

●登録者数 147名

1. 案内コース	道後周辺	松山城
2. 案内日	毎日（年末年始除く）	毎日（年末年始除く）
3. 案内時間	9:00～12:00	9:00～12:00
	13:30～16:30（金土日祝のみ）	13:00～16:00
4. ガイド人数	平日 2名	平日 4名
	土日祝 4名	土日祝 10名
5. 案内件数	525 件	782 件
6. 案内人数	1,320 人	2,120 人

1. 案内コース	坂の上の雲ミュージアム周辺	JR 松山駅発 湤・遊コース（休止）
2. 案内日	毎日（坂の上の雲ミュージアム休館日及び年末年始除く）	土日祝（年末年始除く）
3. 案内時間	9:30～12:30	
	13:00～16:00	12:30～16:30
4. ガイド人数	平日 2名	土日祝 松山城 1名
	土日祝 6名	土日祝 道後 3名
5. 案内件数	663 件	0 件
6. 案内人数	1,259 人	0 人

② ボランティア募集事業

ふるさとふれあい塾～松山観光文化コンシェルジェ講座～

主 催 松山商工会議所・松山大学・(一社)愛媛県観光物産協会・松山市
(公財)松山観光コンベンション協会

開講期間 令和2年10月2日(金)～令和3年1月22日(金) (全14回)

場 所 オンライン(ウェブ会議システム「ZOOM」ウェビナー使用)

受 講 者 一般 77名(うち松山商業高校39名)

大学生 69名 計146名

2. コンベンション事業（公益目的事業2）

決算総額（支出） 6,823千円

（1）誘致促進事業

支出決算 1,732千円

① 誘致セールス活動の実施

松山市において開催可能性のあるコンベンションの主催者を対象に、県外では主に東京方面で誘致宣伝活動を実施した。

加えて、松山市内外の地元主催者への誘致宣伝活動を積極的に実施した。

（詳細は別紙資料3参照）

首都圏： 86団体（訪問7団体、資料送付79団体）

県内： 35団体

② 第30回国際MICEエキスポ・オンライン（IME2021 Online）への参加（出展）

会期 令和3年2月24日（水）～26日（金）

会場 オンラインによる事前アポイントメント制

主催 日本政府観光局（JNTO）

（一社）日本コングレス・コンベンション・ビューロー（JCCB）

概要 今年度の国際MICEエキスポは、オンラインによる事前アポイントメント制で開催された。

コロナ禍での初めての試みであり、1セッション30分で商談を実施。11団体と商談を実施した。



商談風景

③ 誘致懇談会の開催

ア. 中国・四国地区コンベンション推進協議会事業

中国・四国地区のコンベンション推進機関14団体で構成する協議会であり、相互に意見・情報交換し、事業の円滑な遂行を図る。

・中国・四国地区コンベンション推進協議会総会の開催

開催日 令和2年7月16日（木）

会場 高松港旅客ターミナルビル

出席者 13団体 17名

- ・中国・四国地区コンベンション誘致懇談会

開催日 中止

※7月に開催された上記総会において、中止が決定された。

イ. 7都市情報交換会事業

全国を7ブロックに分け、各ブロックから都市規模が同等であるコンベンション推進団体が参加して構成する会であり、相互に情報交換を実施するとともに、年に1度、東京で主催者を招き懇談会を実施。

今年度は会議をZOOMで実施した。

- ・7都市情報交換会（9回実施）

開催日及び場所	①令和2年8月4日（火）	zoom
	②令和2年9月25日（金）	zoom
	③令和2年10月28日（水）	zoom
	④令和2年12月22日（火）	zoom
	⑤令和3年2月16日（火）	zoom
	⑥令和3年3月2日（火）	zoom
	⑦令和3年3月12日（金）	zoom
	⑧令和3年3月16日（火）	東京&zoom（ハイブリッド開催）
	⑨令和3年3月25日（木）	姫路

- ・7都市情報懇談会の開催

開催日 令和3年3月17日（水）

会場 東京會館 「ロイヤル」（東京都千代田区）

主催 日本工学会・7都市情報交換会

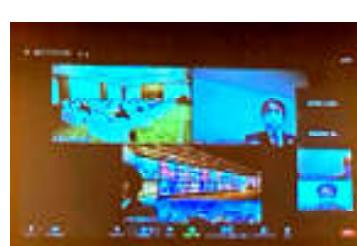
概要 日本工学会の協力を得て「日本工学会事務研究委員会 with 7都市コンベンションセミナー」として開催。

ハイブリッド形式にて6都市（秋田は不参加）のプレゼンおよび会場来場者への個別商談を実施した。

※日本工学会とは、明治12年（1879年）に設立された日本で最初の工学系学術団体であり、現在、約100学協会により構成されている。事務研究委員会は、全会員学協会の事務局代表者を構成員としている。



会場内風景



オンラインでのPR



松山商談ブース

ウ. コンベンション地元誘致懇談会の開催（代替事業）

コンベンション地元誘致懇談会の代替事業として、日本各地のコンベンション団体有志により実施された、MICE フューチャー・アクション「新たな日本の MICE ショーケース」に参画した。

開催日 令和 2 年 7 月 24 日（金・祝）

会 場 ホテルメルパルク松山

概 要 東京都内で開催される MICE ショーケース（講演やシンポジウム）を各地域と Web で結び、さらに開催地の独自プログラムを組み合わせて実施。独自プログラムは、「with コロナ after コロナの MICE のカタチ」と題して、当協会の支援や SDGs の取組などについて講演。また、企業展示会場も開設し、地元企業によるコロナ対策に関する取り組みや商材について PR することで、最新の機器や情報に触れる機会を創出した。



検温所などコロナ対策を施した動線



椅子を交互に配置しソーシャルディスタンス確保



企業展示の様子

④ 海外からの誘致促進事業

※新型コロナウィルス感染症拡大により、海外からの招聘は中止

(2) 開催支援事業

支出決算 3,464千円

① 開催助成金制度

愛媛県内へのコンベンション誘致を推進し、コンベンション振興を図るため、県内で開催されるコンベンションに対し交付する事業であるが、今年度は対象となるコンベンション開催がなかった。

交付件数	0 件（令和元年度：33 件）
交付総額	0 円（令和元年度：8,073,000 円）

② 欽迎用看板等の掲出

国際会議および全国規模（原則として参加者 1,000 人以上が条件）のコンベンションを対象に、松山空港ビルに看板・パネルを掲出表示。歓迎の意を表することで、参加者に対し松山のイメージアップを図り、来松のリピート効果を上げるために実施する事業であるが、中止・延期が重なり、今年度は対象となるコンベンション開催がなかった。

掲出実績	0 件（令和元年度：4 件）
------	----------------

③ 支援グッズの作成

- 「ようおいでたなもし’20～’21」（愛媛・松山観光ガイド）の発行

アフターコンベンション用ブックとして、食べ飲み歩き MAP と文化観光施設等割引入場券と一緒にした形で発行。

今年度は高速道路サービスエリア等にも提供し、県外から愛媛を訪れる人へ配布した。

発行部数 55,000 部

- ナイロン製アームバッグの作成、配布

コンベンション参加者の支援用として作成、配布する事業だが、今年度は配布部数が少なかったため、作成はしなかった。

④ サポートスタッフの派遣・育成

- 今年度の派遣はなかった。

⑤ その他

- えひめコンベンション施設ガイドの提供

誘致用パンフレットとして、コンベンション主催者に提供した。

提供部数 約 100 部

(3) 調査・研究事業

支出決算 1,627千円

① 経済波及効果調査

- 令和元年度コンベンション統計の作成

令和元年度に県内で開催されたコンベンションの件数・人数また経済波及効果の調査結果をまとめた資料を作成した。

〈概要〉 コンベンション参加者 1,261,256 人（平成 30 年度：1,361,940 人）

推定消費額 66 億円（平成 30 年度：85 億円）

② コンベンション調査

ア. 2020年度コンベンションカレンダーの発行

2020 年度に県内で開催されるコンベンションを記載したもので、賛助会員ならびに大学関係者等に配布した。(発行部数 : 2,000 部)

イ. アンケート調査の実施

例年、コンベンション参加者を対象に、参加地区・利用交通機関・訪問観光地・宿泊ほか参加経費等について調査を行い、経済波及効果測定等の基礎資料としているが、今年度は県外からの参加が多いコンベンションがなかったため、実施しなかった。

ウ. コンベンションビューロ一部会

JCCB 会員（7 業種 119 会員）のうち、コンベンションビューローの会員（70 団体）で組織する部会において、コンベンションの振興を図る上での課題等を検討、協議する会。（会員数は令和 3 年 3 月 31 日現在）

エ. 2020 年度 JCCB 総会

開催日 令和 2 年 6 月 15 日（月）

会 場 京王プラザホテル（東京） ※出席はせず、資料のみ受取

オ. 四国地区観光コンベンション推進団体情報交換会出席

四国地区的コンベンション推進 5 団体（高松、徳島、鳴門、高知、松山）で構成し、「四国」として共同誘致や事業等を推進していくための会

<第 1 回>

開催日 令和 2 年 7 月 16 日（木）

会 場 高松港旅客ターミナルビル

<第 2 回>

開催日 令和 3 年 3 月 29 日（月）

会 場 オンライン（zoom）による開催

カ. 観光庁事業「コンベンションビューロー支援事業」

<第 1 回>

開催日 令和 2 年 7 月 30 日（木）

会 場 オンライン（zoom）による開催

内 容 MICE ブランディング、国際 MICE 概論

<第 2 回>

開催日 令和 2 年 8 月 31 日（月）～9 月 2 日（水）

会 場 松山市

内 容 地域資源視察、MICE ブランディング、ステークホルダー連携
ローカルホスト連携、受入サポート、コンテンツ開発

<第 3 回>

開催日 令和 2 年 9 月 29 日（火）～9 月 30 日（水）

会 場 東京

内 容 コロナウイルス感染症対策、開催地プロモーション

<第4回>

開催日 令和2年11月12日（木）～11月13日（金）
会場 松山市
内容 MICEプランディング、ステークホルダー連携、受入サポート
ビッドペーパー作成、コンテンツ開発

<第5回>

開催日 令和2年12月8日（火）～12月10日（木）
会場 東京
内容 ステークホルダー連携、リード開発、目標設定

<第6回>

開催日 令和3年3月18日（木）～3月19日（金）
会場 松山市
内容 リード開発、ステークホルダー連携、オンライン国際会議ノウハウ
目標設定



ステークホルダー連携研修



MICE プランディング研修



コンテンツ開発研修



受入サポート研修



開催地プロモーション研修



地域資源観察

③ 管理システムの運用

コンベンションの誘致・支援活動の状況や、キーパーソンに関する情報等を管理し、効率的な誘致・支援につなげるためのシステム運用

- 支援を行った大会等

支援件数 13件（令和元年度：114件）

資料配付数 10,190部（令和元年度：35,588部）

（詳細は別紙資料4参照）

III. 収益事業報告

決算総額（収入）2,959千円
(支出) 1,504千円

1. 広告料収入事業

収入決算 970千円

支出決算 478千円

(1) 松山城ロープウェイ駅舎3階壁面広告

広告期間 2020年4月1日～2021年3月31日
広告掲載業者 10業者

(2) 物産陳列ケース広告

展示期間 2020年4月1日～2021年3月31日
展示業者 21業者
商品の札を英語表記しQRコードを入れ、インバウンドに対応したものに
変更した。JR松山駅は看板をより目立つものに改修した。



(松山城ロープウェイ駅舎3階)



(JR松山駅)

(3) 松山城ロープウェイ・ゴンドラ内広告

広告期間 2020年4月1日～2021年3月31日
広告掲載業者 8業者



(4) (公財)松山観光コンベンション協会ホームページバー広告

広告期間 2020年4月1日～2021年3月31日
広告掲載業者 3業者

2. 手数料収入事業

収入決算 813 千円

支出決算 490 千円

(1) 案内所での記念グッズ販売による手数料

佐川印刷㈱絵はがき・一筆箋・メモ帳販売	販売数 22 冊
佐川印刷㈱自動販売機（ストラップ・ブックマーク）販売	販売数 137 個
愛媛新聞サービスセンター書籍販売	販売数 2 冊
㈱エーシー松山オリジナルグッズ販売	販売数 67 個
㈱ムラヤマ城カード販売	販売数 1,072 枚
（有）前川正樹デザイン事務所（ハーフオーナメント・しおり・クリアファイル販売）	販売数 53 枚

(2) 自動販売機での飲料販売による手数料

設置業者	大塚製薬㈱、四国乳業㈱、コカ・コーラボトラーズジャパン㈱
	ダイドービバレッジサービス㈱、サントリービバレッジサービス㈱
売上本数	10,885 本

(3) 記念メダル販売による手数料

①松山城メダル

メダル等販売数	1,008 個
刻印機利用数	584 回

②道後温泉メダル

メダル等販売数	403 個
刻印機利用数	247 回

3. 販売収入事業

収入決算 1,176 千円

支出決算 536 千円

(1) 名刺台紙販売

販売数 54 個

(2) 図書販売

販売数 66 冊

(3) ハンドタオル販売

道後温泉足湯タオル販売数	462 枚
松山城ハンドタオル販売数	3 枚

(4) オリジナルグッズ販売

記念バッジ販売数	1 個
紙袋販売数	550 枚
WAONカード	52 枚

(5) アクセサリー「勝守（かちまもり）」販売

松山城の桜の伐採木を活用したアクセサリーを 590 個限定で松山城観光案内所において
令和 3 年 1 月 1 日から販売し、1 月 6 日に完売した。

IV. その他管理事業等

決算総額 8,101 千円

1. 機関紙作成

年2回各4,000部を発行し、全国のコンベンション推進団体及び賛助会員に配布した。

2. ホームページ及び電子パンフレット運営業務

[参考] ユーザー訪問(ページビュー)数 239,299件（うち、41,148件はスマホサイト）

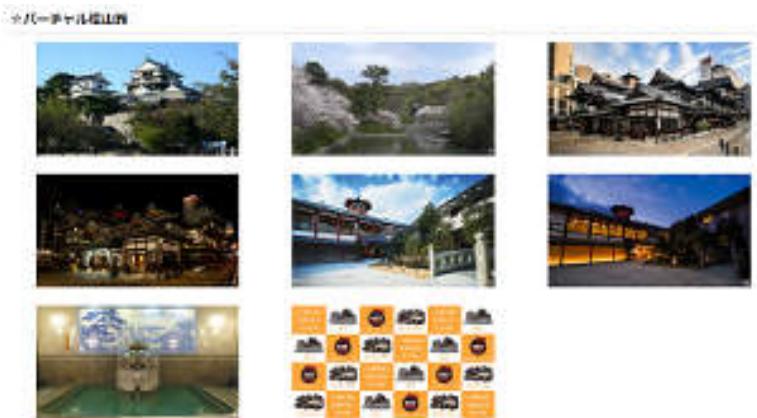
●感染症対策表示のための松山をイメージした無料POPを公開



●外出自粛期間中に松山を楽しんでもらえるように「おうちで松山」を開催

①おうちでバーチャル松山旅

松山を感じられるバーチャル背景を用意。オンライン会議や飲み会で使用してもらえるよう無料で提供。



②おうちでぬり絵松山旅

松山の観光名所をぬり絵にして無料でダウンロードして楽しんでもらう。



③「#おうちで松山」

松山旅行の思い出、松山を感じさせる料理など、「松山」に関する投稿を「#おうちで松山」のハッシュタグをつけて投稿してもらい、投稿者の中からプレゼントキャンペーンを実施。

139件の投稿があり、32名に道後温泉ハンドタオルと入浴剤を送付した。

3. 新規会員の確保

新規加入 10 件
会 員 394 件(3月 31 日現在)

4. 会議開催

理事会・評議員会の開催を随時行うほか、各専門委員会（企画開発委員会・誘客促進委員会・観光物産振興委員会）を必要に応じ適宜開催した。

(1) 理事会

内容については別紙資料 1

- ①期 日 令和 2 年 5 月 18 日(月)
場 所 国際ホテル松山
- ②期 日 令和 2 年 6 月 3 日(水) ※ 決議の省略
- ③期 日 令和 3 年 2 月 15 日(月) ※ 決議の省略
- ④期 日 令和 3 年 3 月 26 日(金)
場 所 ANA クラウンプラザホテル松山
Web 会議システム（使用ソフト：Zoom）併用でのハイブリッド開催

(2) 評議員会

内容については別紙資料1

- ①期　　日　　令和2年4月1日(水) ※ 決議の省略
- ②期　　日　　令和2年6月3日(水)
- 場　所　　東京第一ホテル松山
- ③期　　日　　令和3年2月22日(月) ※ 決議の省略

(3) 各専門委員会

内容については別紙資料2

①誘客促進委員会

期　　日　　令和2年7月20日(月)
場　所　　松山市立子規記念博物館 4階 講堂

②観光物産振興委員会

期　　日　　令和2年7月22日(水)
場　所　　松山市立子規記念博物館 4階 講堂

③企画開発委員会

期　　日　　令和2年7月22日(水)
場　所　　松山市立子規記念博物館 4階 講堂

5. 共催・協賛・後援事業

(1) 第50回野球拳全国大会 ※中止

期　　日　　令和2年4月4日(土)
主　　催　　春まつり野球拳全国大会実行委員会

(2) 第17回伊予節全国大会 ※中止

期　　日　　令和2年4月4日(土)
主　　催　　伊予節全国大会実行委員会

(3) 「まつやまにおいでんか～WELCOME TO MATSUYAMA～」

期　　日　　令和2年7月15日(水)～11月29日(日)
主　　催　　公益社団法人松山青年会議所

(4) プロテイン・アイランド・松山2020

期　　日　　令和2年10月14日(水)～10月16日(金) Biojapan2020 出展
　　　　　　令和2年11月9日(月) カンキツウイルス検査キット紹介セミナー
主　　催　　同実行委員会

(5)『坂の上の雲』のまちを歩こう 2 1 「まつやまなぞ解きクイズラリー」

期　　日　　令和2年10月24日（土）～12月25日（金）
主　　催　　松山市・伊予鉄道㈱・南海放送㈱

(6) 松山城「お正月」イベント（共催事業）

期　　日　　令和3年1月1日（金・祝）
主　　催　　松山市、伊予鉄道（株）松山城総合事務所

(7) 大広重展～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～

期　　日　　令和3年1月16日（土）～3月21日（日）
主　　催　　同実行委員会

(8) 岩合光昭　いよねこ　猫と旅する写真展

期　　日　　令和3年2月11日（木・祝）～3月28日（日）
主　　催　　同実行委員会

(9) 愛・野球博 第69回JABA春季四国社会人野球大会

期　　日　　令和3年3月13日（土）～3月14日（日）
主　　催　　JABA四国地区連盟、毎日新聞社

貸借対照表

令和3年3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	93,640,191	34,100,733	59,539,458
未 収 金	199,072	34,527,225	△ 34,328,153
過 払 金	0	0	0
棚 卸 資 産	1,822,471	1,542,764	279,707
流動資産合計	95,661,734	70,170,722	25,491,012
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基 財 · 預 金 債 権	421,184,000	421,208,000	△ 24,000
投 資 有 価 証 券	99,816,000	99,792,000	24,000
基本財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(2) 特定資産			0
退 職 給 与 引 当 預 金	15,553,761	12,553,761	3,000,000
特定資産合計	15,553,761	12,553,761	3,000,000
(3) その他固定資産			0
電 話 加 入 権	149,968	149,968	0
什 器 備 品	5,472	10,942	△ 5,470
その他固定資産合計	155,440	160,910	△ 5,470
固定資産合計	536,709,201	533,714,671	2,994,530
資産合計	632,370,935	603,885,393	28,485,542
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未 払 金	9,097,104	40,238,884	△ 31,141,780
仮 受 金	70,742,159	14,389,074	56,353,085
流動負債合計	79,839,263	54,627,958	25,211,305
2. 固定負債			0
退 職 給 付 引 当 金	43,290,220	39,821,310	3,468,910
固定負債合計	43,290,220	39,821,310	3,468,910
負債合計	123,129,483	94,449,268	28,680,215
III 正味財産の部			0
1. 基金	0	0	0
基金	0	0	0
2. 指定正味財産	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産合計	521,000,000	521,000,000	0
(うち基本財産への充当分)	(521,000,000)	(521,000,000)	(521,000,000)
3. 一般正味財産			0
(1)代替基金	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 11,758,548	△ 11,563,875	△ 194,673
一般正味財産合計	△ 11,758,548	△ 11,563,875	△ 194,673
正味財産合計	509,241,452	509,436,125	△ 194,673
負債及び正味財産合計	632,370,935	603,885,393	28,485,542

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	311,207	308,579	2,628
基本財産利息収入	311,207	308,579	2,628
特定資産運用益	0	0	0
特定資産運用収入	0	0	0
受取会費	10,325,000	11,845,000	△ 1,520,000
賛助会員会費収入	10,325,000	11,845,000	△ 1,520,000
事業収益	3,036,211	7,152,087	△ 4,115,876
広告料収入	969,600	1,099,240	△ 129,640
手数料収入	812,840	2,704,926	△ 1,892,086
販売収入	1,253,771	1,237,962	15,809
観光PR事業収入	0	402,400	△ 402,400
物産と観光展手数料収入	0	1,707,559	△ 1,707,559
受取補助金等	115,402,841	208,684,926	△ 93,282,085
市補助金等収入	115,402,841	208,684,926	△ 93,282,085
県補助金等収入	0	0	0
受取負担金	1,000,000	3,510,000	△ 2,510,000
負担金収入	1,000,000	3,510,000	△ 2,510,000
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金収入	0	0	0
雑収益	131,994	151,005	△ 19,011
受取利息	912	720	192
雑収入	0	31,000	△ 31,000
雇用保険料預り金	131,082	119,285	11,797
経常収益計	130,207,253	231,651,597	△ 101,444,344
(2) 経常費用			0
事業費	95,738,499	190,131,048	△ 94,392,549
報酬	663,273	665,097	△ 1,824
給料手当	29,749,966	27,296,616	2,453,350
退職給付費用	1,331,055	3,002,863	△ 1,671,808
福利厚生費	9,510,695	9,082,464	428,231
臨時雇賃金	2,084,184	1,790,135	294,049
会議費	1,048,794	2,056,537	△ 1,007,743
旅費交通費	658,340	36,438,326	△ 35,779,986
通信運搬費	775,720	14,502,928	△ 13,727,208
什器備品減価償却費	5,470	5,470	0
手数料	0	0	0

消耗品費	3,938,151	10,187,354	△ 6,249,203
印刷製本費	3,037,650	4,022,400	△ 984,750
諸謝金	2,153,442	9,525,923	△ 7,372,481
報償費	600,000	600,000	0
委託費	33,869,624	47,116,832	△ 13,247,208
負担金支出	1,066,800	1,693,800	△ 627,000
広告宣伝費	2,638,000	4,792,150	△ 2,154,150
賃借料	1,828,696	4,004,901	△ 2,176,205
修繕費	0	1,429,100	△ 1,429,100
保険料	202,300	971,650	△ 769,350
燃料費	0	0	0
光熱水料費	311,247	262,640	48,607
助成金支出	0	9,723,000	△ 9,723,000
租税公課	0	0	0
雑費	64,599	297,340	△ 232,741
期首棚卸高	1,542,764	1,577,486	△ 34,722
期末棚卸高	△ 1,342,271	△ 913,964	△ 428,307
管理費	34,663,427	35,077,818	△ 414,391
役員報酬	4,239,990	4,475,207	△ 235,217
給料手当	16,070,124	14,283,626	1,786,498
福利厚生費	4,114,792	4,009,756	105,036
臨時雇賃金	0	2,258,338	△ 2,258,338
退職給付費用	2,137,855	1,541,065	596,790
会議費	273,236	219,787	53,449
旅費交通費	0	0	0
交際費	29,265	0	29,265
通信運搬費	971,388	1,110,753	△ 139,365
消耗品費	1,153,814	1,475,804	△ 321,990
印刷製本費	513,040	504,452	8,588
諸謝金	200,000	200,000	0
委託費	826,430	898,420	△ 71,990
負担金支出	585,280	577,514	7,766
賃借料	2,470,104	2,185,772	284,332
修繕費	8,800	157,400	△ 148,600
保険料	208,630	302,790	△ 94,160
燃料費	52,838	73,932	△ 21,094
光熱水料費	537,629	617,352	△ 79,723
租税公課	256,800	185,850	70,950
減価償却費	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0
雑費(予備費含まない)	13,412	0	13,412
経常費用計	130,401,926	225,208,866	△ 94,806,940

評価損益等調整前当期経常増減額	△ 194,673	6,442,731	△ 6,637,404
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 194,673	6,442,731	△ 6,637,404
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
一般正味財産修正額	0	0	0
退職給付費用			
棚卸資産廃棄損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 194,673	6,442,731	△ 6,637,404
一般正味財産期首残高	△ 11,563,875	△ 18,006,606	6,442,731
一般正味財産期末残高	△ 11,758,548	△ 11,563,875	△ 194,673
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
指定正味財産修正額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	521,000,000	521,000,000	0
指定正味財産期末残高	521,000,000	521,000,000	0
III 正味財産期末残高	509,241,452	509,436,125	△ 194,673

令和2年度正味財産増減計算書(内訳表)

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	311,207	311,207	0	0	0	0	0	311,207
基本財産利息収入			311,207	311,207			0			311,207
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用収入				0			0			0
受取会費	0	0	10,325,000	10,325,000	0	0	0	0	0	10,325,000
贊助会員会費収入			10,325,000	10,325,000			0	0		10,325,000
事業収益	0	77,500	0	77,500	2,958,711	0	2,958,711	0	0	3,036,211
広告料収入				0	969,600		969,600			969,600
手数料収入				0	812,840		812,840			812,840
販売収入		77,500		77,500	1,176,271		1,176,271			1,253,771
観光PR事業収入	0			0			0			0
物産と觀光展手数料収入	0			0			0			0
受取補助金等	66,414,773	9,608,638	0	76,023,411	0	0	0	39,379,430	0	115,402,841
市補助金等収入	66,414,773	9,608,638		76,023,411			0	39,379,430		115,402,841
県補助金等収入	0			0			0			0
受取負担金	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000
負担金収入	0		1,000,000	1,000,000			0			1,000,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金収入				0			0			0
雑収益	0	0	912	912	0	0	0	131,082	0	131,994
受取利息			912	912			0			912
雑収入				0			0			0
雇用保険料預り金				0			0	131,082		131,082
経常収益計	66,414,773	9,686,138	11,637,119	87,738,030	2,958,711	0	2,958,711	39,510,512	0	130,207,253
(2) 経常費用										
事業費	68,881,890	17,857,250	4,623,173	91,362,313	4,376,186	0	4,376,186		0	95,738,499
報酬	0	0	663,273	663,273	0		0			663,273
給料手当	19,706,764	8,129,226	1,913,976	29,749,966	0		0			29,749,966
退職給付費用	1,113,904	217,151	0	1,331,055	0		0			1,331,055
福利厚生費	4,777,390	2,687,381	2,045,924	9,510,695	0		0			9,510,695
臨時雇賃金	2,084,184	0	0	2,084,184	0		0			2,084,184
会議費	25,800	1,022,994	0	1,048,794	0		0			1,048,794
旅費交通費	198,060	460,280	0	658,340	0		0			658,340
通信運搬費	650,322	125,398	0	775,720	0		0			775,720
什器備品減価償却費	0	0	0	0	5,470		5,470			5,470
手数料	0			0						0
消耗品費	2,355,448	1,528,803	0	3,884,251	53,900		53,900			3,938,151
印刷製本費	631,400	2,406,250	0	3,037,650	0		0			3,037,650
諸謝金	2,129,442	24,000	0	2,153,442	0		0			2,153,442
報償費	600,000	0	0	600,000	0		0			600,000
委託費	30,469,700	198,000	0	30,667,700	3,201,924		3,201,924			33,869,624
負担金支出	170,300	896,500	0	1,066,800	0		0			1,066,800
広告宣伝費	2,561,000	77,000	0	2,638,000	0		0			2,638,000
賃借料	1,159,400	66,144	0	1,225,544	603,152		603,152			1,828,696
修繕費	0	0	0	0	0		0			0
保険料	202,300	0	0	202,300	0		0			202,300
燃料費	0	0	0	0	0		0			0
光熱水料費	0	0	0	0	311,247		311,247			311,247
助成金支出	0	0	0	0	0		0			0
租税公課	0		0	0	0		0			0
雑費	46,476	18,123	0	64,599	0		0			64,599
期首棚卸高				0	1,542,764		1,542,764			1,542,764
期末棚卸高				0	△ 1,342,271		△ 1,342,271			△ 1,342,271

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公1 (観光・物産)	公2 (コンベンション)	共通	小計	収1(販売等)	共通	小計			
管理費								34,663,427	0	34,663,427
役員報酬								4,239,990		4,239,990
給料手当								16,070,124		16,070,124
福利厚生費								4,114,792		4,114,792
臨時雇賃金								0		0
退職給付費用								2,137,855		2,137,855
会議費								273,236		273,236
旅費交通費								0		0
交際費								29,265		29,265
通信運搬費								971,388		971,388
消耗品費								1,153,814		1,153,814
印刷製本費								513,040		513,040
諸謝金								200,000		200,000
委託費								826,430		826,430
負担金支出								585,280		585,280
賃借料								2,470,104		2,470,104
修繕費								8,800		8,800
保険料								208,630		208,630
燃料費								52,838		52,838
光熱水料費								537,629		537,629
租税公課								256,800		256,800
減価償却費								0		0
有価証券運用損								0		0
雑費(予備費含まない)								13,412		13,412
経常費用計	68,881,890	17,857,250	4,623,173	91,362,313	4,376,186	0	4,376,186	34,663,427	0	130,401,926
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,467,117	△ 8,171,112	7,013,946	△ 3,624,283	△ 1,417,475	0	△ 1,417,475	4,847,085	0	△ 194,673
基本財産評価損益等				0			0			0
特定資産評価損益等				0			0			0
投資有価証券評価損益等				0			0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,467,117	△ 8,171,112	7,013,946	△ 3,624,283	△ 1,417,475	0	△ 1,417,475	4,847,085	0	△ 194,673
2. 経常外増減の部								0		
(1) 経常外収益								0		
過年度損益修正益				0			0			0
雑収益				0			0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								0		
退職給付費用				0			0			0
棚卸資産廃棄損				0	0					0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額								0		0
当期一般正味財産増減額	△ 2,467,117	△ 8,171,112	7,013,946	△ 3,624,283	△ 1,417,475	0	△ 1,417,475	4,847,085	0	△ 194,673
一般正味財産期首残高	△ 88,237,004	△ 43,703,896	92,674,314	△ 39,266,586	10,198,005	△ 1,757,451	8,440,554	19,262,157		△ 11,563,875
一般正味財産期末残高	△ 90,704,121	△ 51,875,008	99,688,260	△ 42,890,869	8,780,530	△ 1,757,451	7,023,079	24,109,242	0	△ 11,758,548
II 指定正味財産増減の部								0		
受取補助金等				0			0			0
一般正味財産への振替額				0			0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			521,000,000	521,000,000			0			521,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	521,000,000	521,000,000	0	0	0	0	0	521,000,000
III 正味財産期末残高	△ 90,704,121	△ 51,875,008	620,688,260	478,109,131	8,780,530	△ 1,757,451	7,023,079	24,109,242	0	509,241,452

財産目録

令和3年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 普通(伊予銀行) 普通(愛媛銀行) 普通(愛媛信用金庫) 普通(県信漁) 普通(県信連) 普通(預り金) 普通(書籍) 普通(グッズ精算) 普通(メダル) 普通(物産)	つり銭準備金として 運転資金として	240,400 93,399,791 74,745,238 3,858,545 11,295,211 634,846 1,454,931 492,266 659,400 66,964 192,390 0 199,072 136,584 61,608 880
	未収金 販売収入 手数料収入 委託費			
	棚卸資産			1,822,471
流動資産合計				95,661,734
(固定資産)				
基本財産	基財・預金債権 譲渡性預金(伊予銀行) 譲渡性預金(伊予銀行) 譲渡性預金(伊予銀行) 定期(伊予銀行) 定期(愛媛銀行) 譲渡性預金(愛媛銀行) 譲渡性預金(愛媛銀行) 譲渡性預金(愛媛信用金庫) 定期(愛媛信用金庫) 定期(県信漁) 投資有価証券 有価証券(地方債)		公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	521,000,000 421,184,000 10,000,000 45,000,000 150,000,000 184,000 45,000,000 55,000,000 30,000,000 70,000,000 6,000,000 10,000,000 99,816,000 99,816,000
特定資産	退職給与引当預金 伊予銀行(普通)			15,553,761 15,553,761
その他固定資産	電話加入権 什器備品		公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、管理運営の用に供している。 公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産であり、収益事業の用に供している。	155,440 149,968 5,472
	収益目的保有財産	松山城ロープウェイ駅舎3階	物産陳列ケース	5,472
固定資産合計				536,709,201
資産合計				632,370,935
(流動負債)	未払金 未払金 仮受金			79,839,263 9,097,104 70,742,159
流動負債合計				79,839,263
(固定負債)	退職給付引当金			43,290,220
固定負債合計				43,290,220
負債合計				123,129,483
正味財産				509,241,452

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定率法の直接法により減価償却を行っている。(償却率:0.25)

(4) リース取引の処理方法について

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	421,208,000	0	24,000	421,184,000
投資有価証券	99,792,000	24,000	0	99,816,000
小計	521,000,000	24,000	24,000	521,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,553,761	3,000,000	0	15,553,761
小計	12,553,761	3,000,000	0	15,553,761
合計	533,553,761	3,024,000	24,000	536,553,761

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	421,184,000	(421,184,000)	(0)	(—)
投資有価証券	99,816,000	(99,816,000)	(0)	(—)
小計	521,000,000	(521,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	15,553,761	0	0	(15,553,761)
小計	15,553,761	0	0	(15,553,761)
合計	536,553,761	(521,000,000)	0	(15,553,761)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

什器備品	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
電話加入権	149,968	0	0	149,968
什器備品	547,050	5,470	541,578	5,472
合計	697,018	5,470	541,578	155,440

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
第438回大阪府公募公債(10年)	99,816,000	100,760,000	944,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
運営補助金	松山市	0	115,402,841	115,402,841	0	一般正味財産

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。